

地球惑星科学委員会 地球・惑星圏分科会 (第25期第4回)

議事要旨

日 時：2021年12月28日(火) 11:00～12:00、14:00～17:00

会 場：遠隔会議 (主催会場：東京大学) (Zoom online 会議室)

出席者：

川村 光、小池 俊雄、田近 英一、中村 卓司、西 弘嗣、堀 利栄、
東 久美子、阿部 彩子、石渡 明、植松 光夫、大久保 修平、大谷 栄治、
奥村 晃史、川幡 穂高、掛川 武、木村 学、久家 慶子、佐々木 晶、
佐藤 薫、新永 浩子、関 華奈子、高薮 縁、谷口 真人、津田 敏隆、
中村 正人、中島 映至、中村 尚、新野 宏、長谷部 徳子、花輪 公雄、
原田 尚美、日比谷 紀之、福田 洋一、藤井 良一、古屋 正人、益田 晴恵、
藪田 ひかる、八木谷 聡、山岡 耕春、山形 俊男、山岸 明彦、渡邊 誠一郎
(42名)

オブザーバー：

磯崎 行雄、佐竹 健治、村山 泰啓 (3名)

欠席者：

林 正彦 (1名)

配付資料：

資料1：地球惑星科学委員会 (第25期・第3回) 同委員会地球・惑星圏分科会 (第25期・第3回) 合同会議議事要旨

資料2-1：地球衛星観測将来構想小委員会報告

資料2-2：学術試料共有小委員会報告

資料2-3：学術データ共有小委員会報告

資料3-1：未来の学術振興に向けた重要な学術研究の取りまとめについて

資料3-2：JpGU2022ユニオンセッション(U-08) セッション提案

参考資料2-1 総会資料5 (科学的助言機能・「提言」等の在り方の見直しについて
(案))

参考資料2-2 第三部会資料5 (第三部査読ルールについて (たたき台))

参考資料3-1 今後の大型研究計画について

議事：

中村卓司分科会委員長より、定員 43 名中過半数の出席があり、開催要件を満たしていること、また、議題 3 については、本日 14 時から開催の地球惑星委員会との合同議題であることが確認された。

1. 前回議事要旨確認

前回議事要旨は、すでにメールで確認済みで公表されているが、もし修正が必要な場合は申し出るよう、要請された。

2. 各小委員会からの報告

本分科会所属の 3 つの小委員会委員長より、それぞれ以下の活動報告がなされた。

・地球衛星観測将来構想小委員会

高藪小委員会委員長から資料 2-1 を基に、これまで 4 回の小委員会を開催し、意見の表出を目指し、必要な検討項目の確認、目次案の作成、執筆内容についての議論を進めてきた旨の説明があった。これらの中で、学術会議における提言の在り方についての議論をうけ、意思の表出の方法についても議論を行い、現時点では提言を目指すものの、見解とするかについては、今後、さまざまな意見を伺いながらさらに検討するとの説明があった。なお、見解とした場合、現時点で査読プロセスの詳細は検討中ではあるものの、学術会議全体での部を超えたチェックが入りにくくなるのではないかとの懸念が示された。

・学術試料共有小委員会

堀小委員会委員長から資料 2-2 を基に、第 1 回小委員会を 5 月に開催し、その後、10 月頃に学術データ共有小委員会と合同シンポジウムの開催を予定していたが、さらに試料共有に関する情報収集が必要なことから、シンポジウムの開催を延期し、今後、JpGU や関係学会、海外の動向なども参考にしながら、引き続き、小委員会での議論を進める予定である旨、説明があった。

・学術データ共有小委員会

村山小委員会委員長から、資料 2-3 を基に、これまで 2 回の小委員会を開催し、小委員会の活動方針、小委員会の目指す方向性等について議論してきた旨、説明があった。その中で、今期中の意思の表出に向け、国内外連携体制、情報学と地球科学との融合新分野の重要性、データ管理担当者の人材評価、データにかかわる学術業績等に関連した

議論の内容の紹介があった。

なお、学術試料共有小委員会と学術データ共有小委員会との合同シンポジウムの開催については、今後、両小委員会の幹事団などを中心に検討し、開催に向けて調整を行いたい旨、確認された。

3. 大型研究計画と JpGU2022 ユニオンセッションについて

中村分科会委員長、田近地球惑星科学委員会委員長より、資料3-1、資料3-2を基に、状況の説明があり、その後、さまざまな観点からの意見交換が行われた。

それらを踏まえたうえで、今期は学術会議として「マスタープラン」を策定しないこと、また、それに代わる新たな取り組みは行われる見込みであり、その詳細が示されていない状況ではあるが、これまでの大型研究計画の立案やその支援に向けての取り組みの重要性に鑑み、地球惑星科学委員会としては、マスタープランと同様のながれ・評価の観点で、大型計画のヒヤリング等のサポートを続けていき、計画のポリッシュアップを進めたい、また、その一環として JpGU2022 でユニオンセッションを開催するので協力をお願いしたい旨、説明があった。

4. その他

特になし

以上